

# 亀工房 地域アクティビティー

エンジョイ！地域アクティビティー。これは、両毛地域（足利、佐野、小山、太田、館林、桐生）などで行われるイベントなどに参加してそれを掲載するというものです。私達のような、地域に密着した事業をさせて頂いている者にとって、街を知ることは、お客様のくらしを知ることには他ならない事です。様々な価値観、生活スタイルは、教科書には載っていない。自分で感じて多くの方とのふれあいを知ることだと思っています。同業者を参考にするのではなく、地域の方を参考にしよう。義務的ではなく、楽しそうなら参加してみようというのが趣旨です。その活動を皆様にみて頂き、新たな地域力を皆さまにも発見してほしい！そんな願いも込めています。

亀工房では取り上げて欲しい身近なイベントや活動を募集しています！地域でのボランティアを楽しんでいる団体活動でも構いません！



## 亀工房

<http://www.kame-kobo.jp>

暑い8月。しかし、逃げ場が無いわけではありません。エアコンの中で生活していれば、夏の暑さはむしろ心地いいのかもしれませんが。

異常気象なんて対岸の火事になってしまいそうです。

先日、テレビで見たのですが、「電気が止まったら・・・どうなる？」という話。そりゃあもう大パニックなんです。簡単に今まで築いた平和の仕掛けがボロボロと崩れてしまうんです。それは、エコを考えよう！なんて達成感のない目的をスローガンにしている場合じゃありません。平和維持活動なんですよ。エコが。止まる事は無くても高騰することは考えられます。

さて、こんな人がいます。佐野市秋山に農業をしながら、今、自宅を自分で造っている関塚さん。関塚さんについてはこちらで過去に紹介して

います。関塚農法、それは、筋耐力壁が無い家。み上げた家。壁です。すべて自水に至るまで地元



場。昔ながらの貫工交いや、2×4という伝統建築の技法で組は竹小舞下地で土壁然素材を利用し、排に循環するような仕組みにするそうです。私も、社員の岡村を連れてワークショップに参加してきました。その時の様子です。学べることはたくさんあります。まず、我々プロフェッショナルが土壁、伝統建築で建築するととても費用がかさみますが建築業者として家を建てないという発想もあるわけです。（セルフビルド

です）また、建主の価値観を私達はたえずヒヤリングし、更新していかなければなりません。それから、完全な自然素材のメリットデメリットなど客観的な発想も必要です。そういう意味でたくさんの学びがあるという事です。なので私も土を塗ってきました。そこでさっそくですが、極力自然に負荷がかからずに快適で安心、また家庭で、ある程度食物の自給もできる家庭菜園付きでかつ、快適な暮らしをプロデュースした提案なども考えられそうです。

その時は、有機農法に詳しい関塚さんとコラボして新たな発想の新築のプラン、またはリフォームプランを考えられたらいいなあとちょっとひらめきました。これを読んで、面白そうだと思っている、まだ先だけ家を検討されている方はちょっと亀工房にご相談ください。現在まったくのノープランですし、関塚さんも自分の家で精一杯の所に、私の勝手なアイデアが亀工房のhpに掲載されているとも知らないという場当たりの発想です。これは今後の研究としてとらえ、モニターみたいな発想ですが、本業務の合間にモニターさんと年月をかけて、新しい発想でプランを練っていけたらと思っています。なのでどうなるかもわかりませんが、ご興味のある方はご連絡ください！お問い合わせはこちら

